



～虫刺されにはご注意ください～

院長 三和 拓人

今年は暖かく、この時期でも桜が咲き誇っております。

コロナの制限も緩くなり、外出する機会も多いと思いますが、例年になく早くから虫刺されの患者様が多いです。これからの時期に向けて虫刺され症状や対策について述べていきたいと思っております。

虫刺されの原因となる虫とその症状

種類	参考画像	タイプ	特性と症状
蚊		吸う	体長5mm、メスのみ吸血。刺されてすぐかゆくなる即時型反応と数日後に症状が出る遅延型反応がある。
ブヨ		吸う	体長3mm。刺されて半日から症状出現。中央に小さな出血塊、徐々に症状悪化し、しこりになる場合も
ノミ		吸う	2mm。刺されて数日後から症状出現。水ぶくれが出来る場合も。地面から飛び跳ね、ひざ下の皮疹が多い
ダニ		吸う	0.5mm。刺されて半日～1日で症状出現。皮膚の柔らかい腹部、脇、ふとももに皮疹が出やすい
クモ		咬む	1mm～数センチ。咬まれた時の痛みが初期症状。その後即時型反応、遅延型反応のどちらもあり
ムカデ		咬む	数センチ。クモと同様咬まれた時の痛みと、両方の反応。またムカデの足による接触皮膚炎の症状もあり
ハチ		刺す	数センチ。刺された痛みと即時型反応。特に腫れる事が多い。アナフィラキシー反応もまれに起こる

一口に虫刺されと言っても、タイプが異なるので症状も異なるのですね。

虫を寄せ付けないようにする対策

物理的防御

◆肌を極力出さない服装

長袖&長ズボン、帽子など

◆蚊帳

昔からありますが最近見直されブームになっています



環境的防御

◆色の薄い服を着る

黒>青>赤>茶>緑>黄>白の
順に蚊が寄ってきます

◆汗をこまめに拭く

汗の成分の乳酸や尿素が蚊を引き寄せると言われています

虫よけ製品での防御

◆スプレータイプ



昔からある虫よけスプレーに加えて最近ではオーガニック(ハーブ)を使った天然由来成分の製品が流行。他にも衣服に貼るタイプや体に身に付けるリングタイプも

◆皮膚に塗るタイプ

噴霧式のスプレーと違い、直接皮膚に塗る事により虫よけ効果を確実にする

◆置き型タイプ

昔からの蚊取り線香に始まり、電気型や、最近ではワンプッシュで虫よけ効果が持続するものも



虫刺されを防ぐには、虫を寄せ付けないようにする上記の対策をすると良いかもですね。